

# 平成25年9月坂根堰の運用状況について

## ●平成25年9月1日～6日出水 至近5ヶ年で、最大の流入量を記録しました。

9月初め、西日本に停滞する前線に南から暖かく湿った空気が入り込み、岡山県北で強い雨が降り、9月1日18時50分に坂根堰は洪水警戒体制を執りました。その後雨が小降りになり、堰へ流れ込む水量が減りましたが、3日夕方から4日の明け方にかけて激しい雨が降りました。

1日から降り続いた雨により流入量が非常に大きくなったので、4日12時20分からゲートを全開にする操作を行い、12時30分に全開になりました。14時20分頃に最大流入量4,630m<sup>3</sup>/sを記録しました。

その後、次第に流入が減ったため、ゲートが全開になった翌日の5日6時40分から貯め始め、ゆっくり1日をかけて堰より上流の水位を約2m上昇させました。

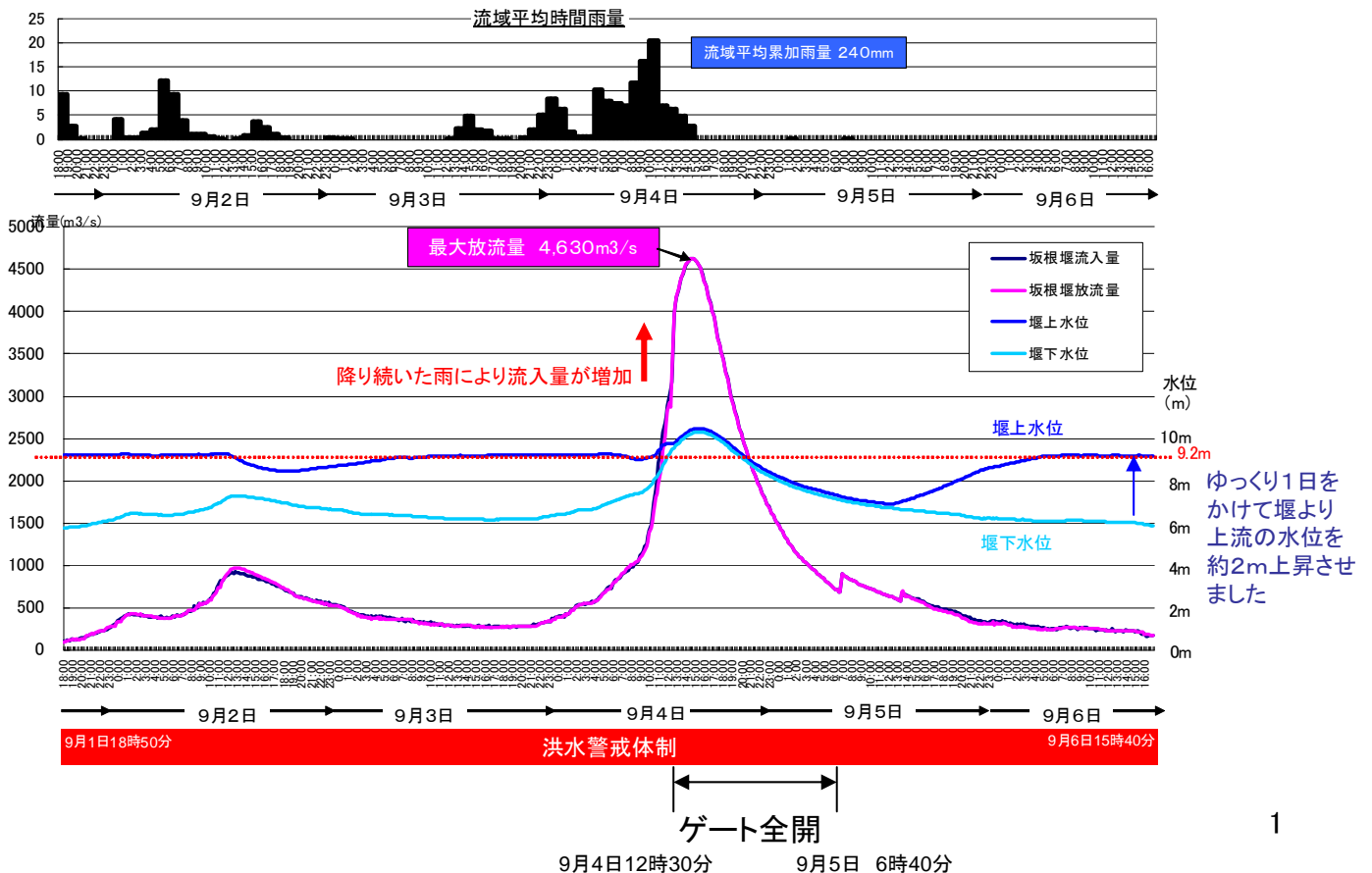


左岸

平常時の坂根堰

9月4日13:00時点 ゲート全開 堰流入量 約4,260m<sup>3</sup>/s

### ☆9月1日～6日までの出水状況



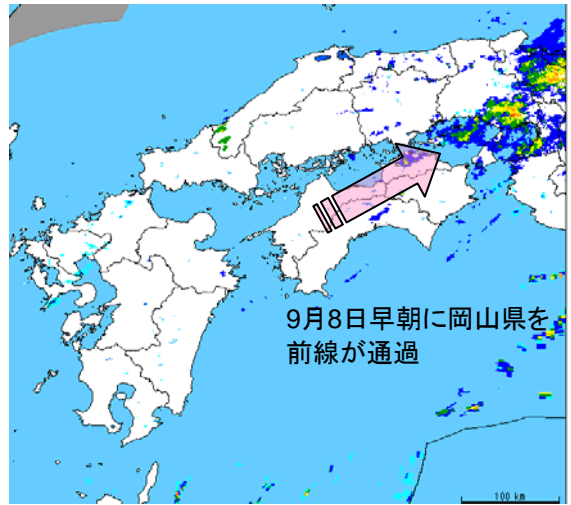
# ●平成25年9月8日出水 前回出水の影響でゲート操作をしました。

8日早朝に岡山県を前線が通過しました。雨自体は流域平均累加雨量で約20mmと、特別激しい雨ではありませんでしたが、前回(4日)出水の影響により、流入量が約130m<sup>3</sup>/sと昨年9月の平均流入量に比べ約3倍という状況のため、8日8時10分に坂根堰は洪水警戒体制を執りました。

この時点で、すでに前線も通過し、お昼頃には晴れ間もみえました。その後堰へ流れ込む水量が減り17時20分に体制を解除しました。

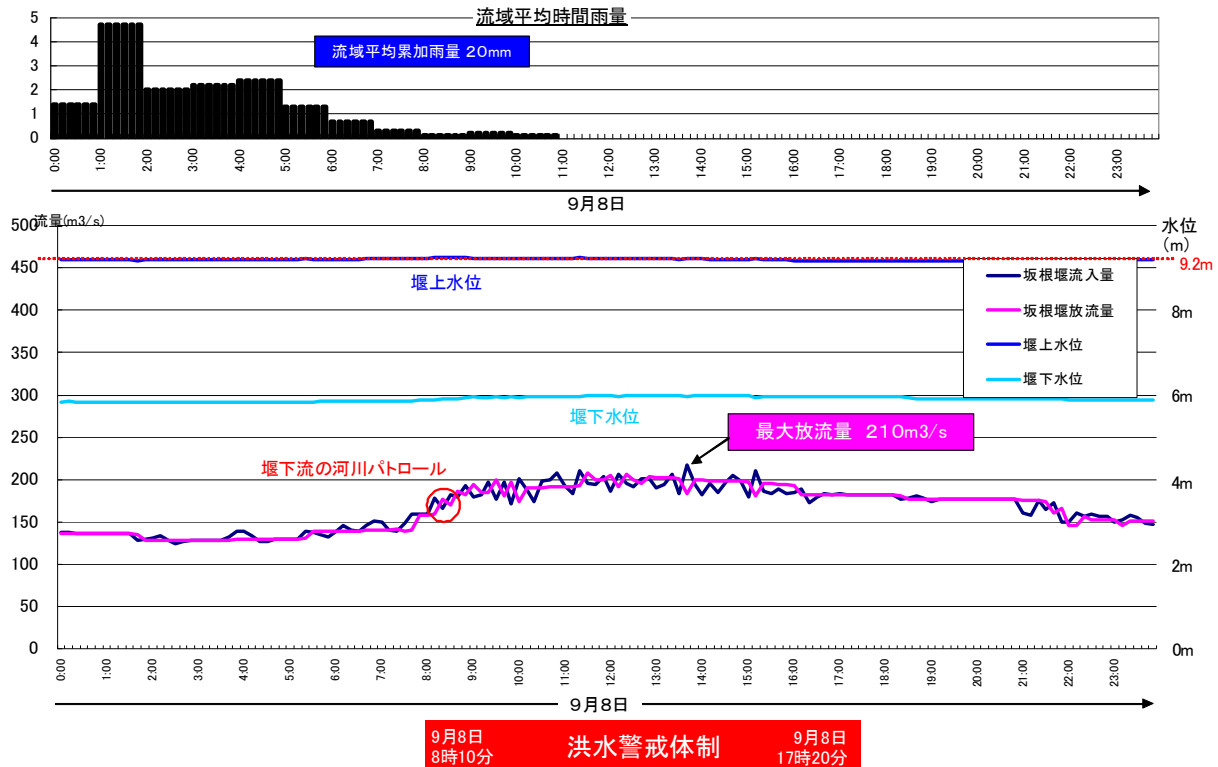
このように、その時の雨が弱くても、川の水位が上昇することがあります。川で遊ぶ際には、サイレンや放送による情報提供に注意していただくとともに、水の流れる位置が変わっていないか、周りの状況確認に心掛けてください。

9月8日8時00分時点 雨量レーダー



9月8日早朝に岡山県を前線が通過

## ☆9月8日の出水状況



放流警報所のサイレン及び坂根堰パトロール車のスピーカーによる放送で情報提供いたします。

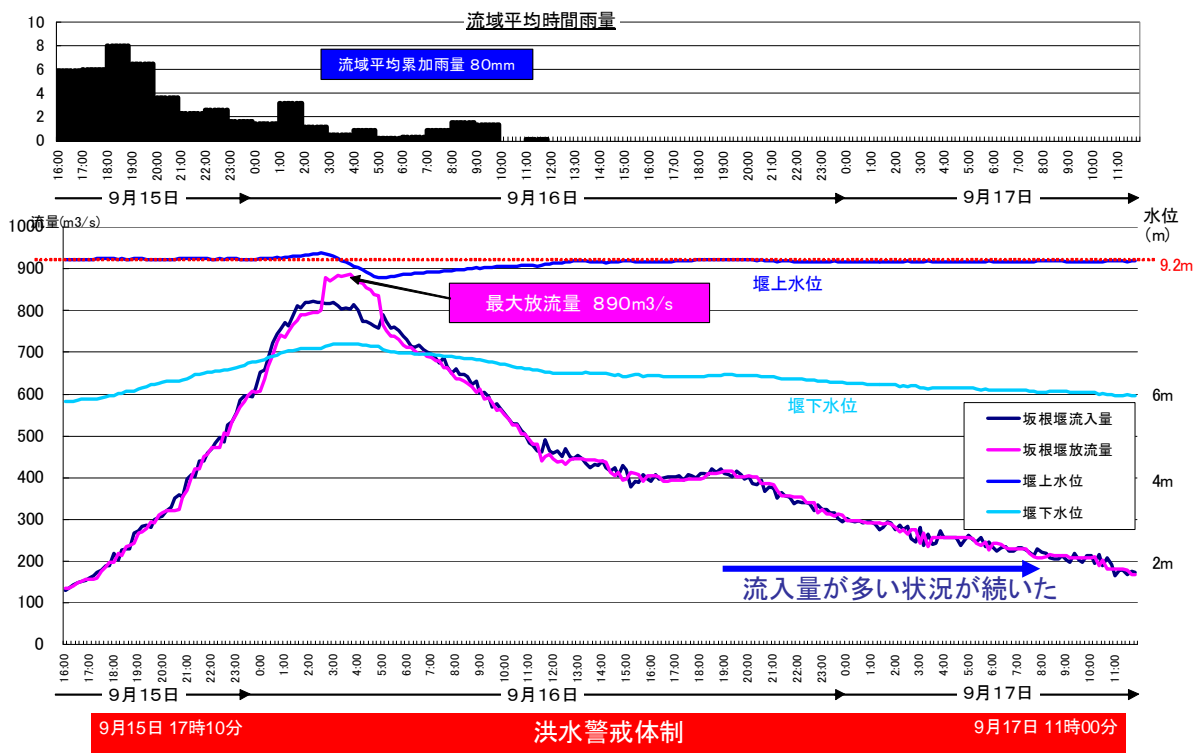
## ●平成25年9月15日～17日出水 台風18号による雨でゲート操作をしました。

日本の各地に被害をもたらした大型の台風18号は、岡山県内では15日1時頃から降り始め、堰への流量は次第に増え、15日17時10分に洪水警戒体制を執りました。

その後も流入量が増え続け、坂根堰より上流の水位が上昇したため、今度は上流地区の浸水被害を防ぐ目的でゲート操作を行い、水位を下げる操作を行いました。この場合でも、堰より下流の水位変動が大きくならないよう、慎重にゲート操作を行っています。

また、今回の出水では苦田ダムが防災操作を行ったため、急激な流入量の増加や、高水敷に水が浸かるような流量になりませんでした。しかし、流入量が多い状況が続いたため、17日11時まで洪水警戒体制を維持しました。

### ☆9月15日～17日の出水状況



強風にあおられ、溜めた水が堰を越える状況(9月16日10時00分時点)

台風が通過した16日には、坂根堰で風速20m/sを越える風が吹き、堰を波が越える状況になりました。このように風が強い場合、堰を越えて水が流れる場合がありますが、全体の放流量に比べると僅かです。